

雲のでき方

教科書 66 ^{ver. 8} ~ 73
 Iワーク 68 ~ 71

霧のでき方

霧 地表付近の空気が冷やされ、水蒸気が水滴になってできた
 風のない晴れた夜に地面から熱が逃げ（放射）、地表の温度が下がる
 ⇒ 霧ができる

空気が上昇・下降する仕組み

雲 上昇する空気中にできた、小さな水滴や氷の結晶の集まり

上昇気流

上昇する空気の動き

⇒

Iワークの3つの絵を

下降気流

下降する空気の動き

下の□に書こう



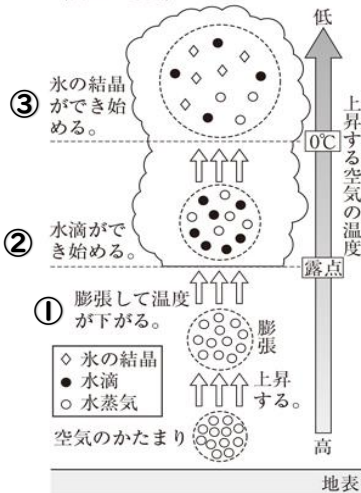
高さによる気圧の変化と空気の膨張

大気圧 空気の重さによる圧力 | 気圧=約1013hPa
 上空に行くほど大気圧は小さくなる
 ⇒ 上昇した空気は膨張して体積が大きくなる
 ⇒ 気温が下がる

Pは大文字！

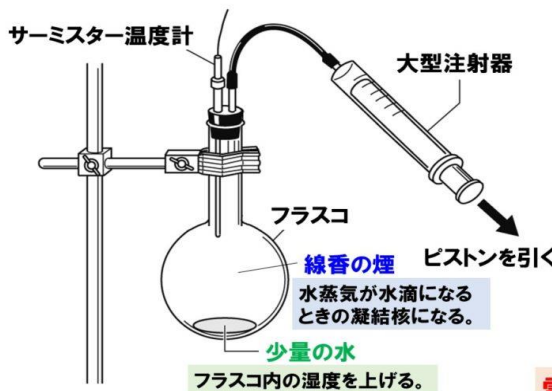
雲、雨や雪のでき方

(雲のでき方)



降水

雨・雪をまとめた表現
 降水をもたらす雲は
 乱層雲・積乱雲



線香の煙は
 空気中のちりの役割